

研究活動 Research Activities

大屋美那 / Mina OYA

[展覧会企画・構成・監修]

「手の痕跡」展企画・構成・監修、国立西洋美術館、2012年11月3日-2013年1月27日

[著作]

青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから印象派、ロダン、ピカソまで』（朝日おとなの学びなおし）分担執筆、朝日新聞出版、2013年

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』作品解説分担執筆、西洋美術振興財団、2013年

[調査活動]

「手の痕跡」展のための調査、東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター（山形県山形市）、2012年6月11-12日

旧松方コレクション作品調査、滋賀県湘南市個人宅、2012年7月27-28日

ローマにおけるフランス人彫刻家についての調査、ボルゲーゼ美術館、国立美術館（ローマ）、コレール博物館、アカデミア美術館（ヴェネツィア）ほか、2013年2月11-20日

西洋装飾美術作品調査、個人宅（東京）

[教育活動]

Google アート・プロジェクト記者発表会出席、2012年4月、オルセー美術館（パリ）

放送大学面接授業「フランス近代彫刻と社会」、2012年5月1日、8日、15日、22日

「寄附報告と購入作品 ブラングイン作《共楽美術館構想俯瞰図、東京》—平成23年度寄附により購入した作品」『ゼフュロス』52号 2012年8月

「国立西洋美術館に『橋本コレクション』の指輪類805点一括寄贈へ—紀元前2000年～現代まで4千年にわたる貴重な文化遺産」『新美術新聞』1288号（2012年8月21日号）3面（取材協力）

「手の痕跡：国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとプールの彫刻と素描」『ゼフュロス』53号、2012年11月

「手の痕跡：国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとプールの彫刻と素描」『うえの』643、2012年11月

「高階秀爾氏が語る 草創期の国立西洋美術館の展示風景」司会進行、「手の痕跡」展関連講演会、国立西洋美術館講堂、2012年11月21日

「所蔵品でたどる彫刻家ふたりの対話」『新美術新聞』2012年12月1日（1面）

[外部資金]

平成22-24年度科学研究費補助金基盤研究（B）「19世紀ローマにおける外国人芸術家の活動と交流に関する包括的研究」（研究分担者）

平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究（C）「海外における松方コレクション関連資料の収集と公開」（研究代表者）

[その他の活動]

ジャポニスム学会理事

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

[情報資料室の活動]

研究資料センターの公開運用

所蔵作品データ整備

美術館ウェブサイト公開運用

資料コーナーの公開運用

ファイルサーバー、ドメイン管理等

[小論、報告等]

「レファレンスブック・ガイド13」『アート・ドキュメンテーション通信』96号、2013年1月

「部会報告 情報・資料研究部会」『Zenbi 全国美術館会議機関誌』3号、2013年1月

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』年表作成、西洋美術振興財団、2013年

[口頭発表]

「作品情報の収集・整理・発信—現状と課題—」全国美術館会議第27回学芸員研修会、2013年3月25日

[教育活動]

放送大学博物館情報・メディア論「第8回デジタル・アーカイブの現状と課題」取材協力（2013年開講予定）

[外部資金]

平成24年度科学研究費補助金研究成果公開促進費（研究成果データベース）「国立西洋美術館所蔵作品データベース」（研究代表者）

平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究（C）「海外における松方コレクション関連資料の収集と公開」（研究分担者）

[その他の活動]

全国美術館会議情報・資料研究部会幹事

東京藝術大学非常勤講師

玉川大学非常勤講師

川瀬佑介 / Yusuke KAWASE

[展覧会]

「エル・グレコ展」監修、国立国際美術館、2012年10月16日-12月24日/東京都美術館、2013年1月19日-4月7日

「システィナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡」企画・構成・監修、国立西洋美術館（2013年9-11月開催予定）

[著作]

『エル・グレコ展』カタログ、監修・編集および作品解説5点、年表ほか執筆、朝日新聞社、2013年

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』作品解説7点、西洋美術振興財団、2013年

「スペイン・フランス 絵画の隆盛」、コラム「17世紀の美術品収集」、青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから印象派、ロダン、ピカソまで』（朝日おとなの学びなおし）朝日新聞出版、2013年、pp.65-78, 94

[翻訳]

『エル・グレコ展』カタログ作品解説、章解説計9点（西和）

フェルナンド・マリーアス「詩学と宗教：エル・グレコ、創意と歴史のはざまに」『エル・グレコ展』カタログ、pp.8-14（西和）

[講演、普及活動]

エル・グレコ展記念講演会「エル・グレコ入門～展覧会をより楽しく見るために」新宿歴史博物館、2013年1月12日/荒川区立生涯学習センター、2013年1月13日/台東区生涯学習センター、2013年1月24日/日本橋劇場（中央区日本橋公会堂）、2013年1月25日/葛飾区郷土と天文の博物館、2013年1月26日/くにたち市民芸術小ホール、2013年2月5日/江東区森下文化センター、2013年2月12日

エル・グレコ展関連レクチャーコンサート「ギターと絵画の交わる場所：スペイン」東京都美術館講堂、2013年3月23日、共演：益田正洋（ギタリスト）

東京外国語大学スペイン美術史特別講演会「エル・グレコ：3つの文化圏に生きた画家」東京外国語大学、2013年1月30日

[その他]

全国美術館会議企画幹事

スペイン・ラテンアメリカ美術史学会運営委員

スペイン・ラテンアメリカ美術史研究査読委員

新藤 淳 / Atsushi SHINFUJI

[展覧会]

小企画「マックス・クリンガーの連作版画——尖筆による夢のシークエンス」、2012年11月3日-2013年1月27日

企画準備「フェルディナント・ホドラー展」（仮称、2014年10月開催予定）

企画準備「国立美術館5館共同展」（仮称、2015年開催予定）

[執筆]

分担執筆：

「ドイツ——異質なルネサンス」「象徴派——見えないものの可視化」、青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから印象派、ロダン、ピカソまで』（朝日おとなの学びなおし）朝日新聞出版、2013年

作品解説：

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』西洋美術振興財団、2013年

「アトリエ資料解説」『美術手帖』（特集：フランシス・ベーコン）2013年3月号

エッセイ：

「イメージが誘惑するほうへ——花澤武夫の『聖アントニウスの誘惑』」『ARKO 2011 花澤武夫』展カタログ、大原美術館、2012年

「『嵐』という名の夢——デア・シュトゥルムをめぐる100年後の備忘録」『であ、しゅとるむ』（ファン・デ・ナゴヤ美術展）展カタログ、2013年

[編集]

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』西洋美術振興財団、2013年

[その他]

東洋美術学校非常勤講師「博物館展示論」

武蔵野美術大学版画研究室 特別講義「マックス・クリンガーの版画」

陳岡めぐみ / Megumi JINGAOKA

[展覧会]

「ユベール・ロベール——時間の庭」展（2012年3月6日-5月20日予定）企画・構成

「国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景を見る眼——19世紀風景画の革新」展（ポーラ美術館：2013年7月13日-11月24日/国立西洋美術館：12月7日-2014年3月9日開催）企画準備

「ポルドー美術館展」（仮称、2015年夏開催予定）企画準備

[調査・研究・執筆]

共著：

「ロマン主義 多様化する美」「レアリスム ありのままの現実を描く」「印象派 感覚と印象の造形」、青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから印象派、ロダン、ピカソまで』（朝日おとなの学びなおし）朝日新聞出版、2013年、pp.119-146

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』西洋美術振興財団、2013年

「アブラハム・ボッスの銅版画技法書の18世紀フランスにおける改訂増補版に関する試論」平成22-24年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究報告書『西洋近代史の一次史料調査』2013年3月、pp.34-38, 46-47

作品解説：

平成24年度国立美術館巡回展『国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術』カタログ、国立西洋美術館、2012年10月

国際シンポジウム「時の作用と美学」（2012年4月14、15日、国立西洋美術館、東京日仏学院）企画、および、パネル発表「時間の模倣——『廃墟のユベール』をめぐる一試論」

[普及]

講演：

「ユベール・ロベール——時間の庭」日本工業倶楽部、2012年4月4日

「ユベール・ロベール——時間の庭」国立西洋美術館講堂、2012年4月28日

「平成24年度国立美術館巡回展記念講演 国立西洋美術館と松方コレクション」井原市立田中美術館、2012年11月10日

[その他]

ルーヴル美術館絵画部門で在外研究、2012年12月-2013年2月

高梨光正 / Mitsumasa TAKANASHI

[展覧会]

「ベルリン国立美術館展——学べるヨーロッパ美術の400年」（主催：国立西洋美術館/TBS/読売新聞社/プロイセン文化財団ベルリン国立美術館）、2012年6月13日-9月17日

[作品調査報告・論文等]

「作品調査報告：ルドヴィーコ・カラッチ《ダリウスの家族》」『国立西洋美術館研究紀要』No.17、pp.5-15

青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから

印象派、ロダン、ピカソまで』(朝日おとなの学びなおし) 分担執筆、朝日新聞出版、2013年

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』作品解説分担執筆、西洋美術振興財団、2013年

[口頭発表]

「イタリア素描の魅力—その技法と目的」、ベルリン国立美術館展記念講演会、国立西洋美術館講堂、2012年9月8日

「LED 照明の導入と省エネの状況—国立西洋美術館の事例」、「文化財の保存環境を考慮した博物館の省エネ化」に関する研究会、東京文化財研究所、2013年2月18日

[調査・研究・企画等の活動]

個人蔵旧松方コレクションの15～18世紀イタリア絵画および素描の来歴調査および作者同定を含む美術史的調査

個人蔵旧松方コレクションのカラッチ作品調査

購入作品ヴァンチェンツォ・カテーナ《聖母子と幼い洗礼者聖ヨハネ》の科学調査および研究

絵画展示用LED 照明導入に関する調査

国立西洋美術館所蔵エル・グレコ《磔刑図》のX線撮影、赤外線撮影

[教育活動]

上智大学大学院文学研究科文化交渉学専攻非常勤講師

寺島洋子 / Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

インターンシップ・プログラム指導

ボランティア・プログラム指導

スクール・プログラム運営

ファミリープログラム企画・実施

平成23年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、2012年7月30-31日、国立西洋美術館/国立新美術館

ジュニア・パスポート作成「ベルリン展」「手の痕跡展」「ラファエロ展」

Fun with Collection 2012「彫刻の魅力を探る」企画実施

[口頭発表など]

「対話型ギャラリートークでより楽しく、より深く鑑賞活動を行なうために」の指導講評、第52回関東甲信越静地区造形教育研究大会第7分科会、所沢市生涯学習センター、2012年11月9日

「学校と博物館—その継続的な連携について」、第9回博学連携フォーラム、美濃加茂市民ミュージアム、2013年1月31日

「美術館における学校利用」、日本博物館協会協議会、東京都美術館、2013年1月24・25日

「建築家・コルビュジエと国立西洋美術館」、台東区区民講座、台東区総務部、2013年2月16日

「所蔵作品を利用した子ども向け展示とプログラム」、職員研修、国際こども図書館、2013年3月21日

[論文・雑誌・報告書等]

「ミュージアムへ行こう 国立西洋美術館」『科学フォーラム』2月号(通算344号)、東京理科大学、pp.46-49

[調査・研究活動]

日本における博物館教育の歴史

報告書「国立西洋美術館の教育普及活動 1959-2009(仮称)」のための調査

学校の博物館利用の在り方に関する調査研究委員会委員、日本博物館協会(2011年10月-2013年3月)

「北米の5美術館における学校プログラム調査」、科学研究費補助金基盤研究(B)「美術館の所蔵作品を活用した鑑賞教育プログラムの開発」、2013年2月25日-3月6日

[その他の活動]

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2012年4月-2013年3月

放送大学主任講師、2000年11月-2016年9月30日

財団法人日本海事科学振興財団評議員、2010年10月1日-2012年9月30日

日本博物館協会日独交流委員会委員、2012年7月10日-2013年3月31日

中田明日佳 / Asuka NAKADA

[展覧会]

「クラインマイスター：16世紀前半ドイツにおける小画面の版画家たち」展、国立西洋美術館、2012年6月13日-9月17日

「風景—国立西洋美術館素描コレクションより」展、国立西洋美術館、2013年3月2日-6月2日

「国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新」展(サブ担当)、ポーラ美術館/国立西洋美術館、2013年度開催予定

[著作・論文等]

共著:

「ネーデルラント：北方ルネサンスの展開」、青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから印象派、ロダン、ピカソまで』(朝日おとなの学びなおし) 朝日新聞出版、2013年、pp.28-40

「油彩技法の誕生と普及」同上、p.48

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』作品解説14点分、西洋美術振興財団、2013年

専著:

『ポケットガイド 西洋素描の見かた』国立西洋美術館/西洋美術振興財団、2013年

論文:

『フランクフルトの画家』作《画家夫妻像》にみる15世紀ネーデルラントの結婚 伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密国』京都大学出版会より近刊予定

[調査研究]

科学研究費補助金基盤研究(A)「17世紀オランダ美術の東洋表象研究」(連携協力者)

村上博哉 / Hiroya MURAKAMI

[展覧会]

平成24年度国立美術館巡回展「国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術」企画構成、井原市立田中美術館、2012年10月5日-11月25日/島根県立石見美術館、2012年12月22日-2013年2月18日

[著作・論文等]

「ミロの寡黙な絵画」『日仏美術交流シンポジウム シュルレアリスムの時代—越境と混淆の行方』(シンポジウム報告書) 日仏美術学会、2012年6月、pp.89-109

『国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術』展カタログ編集・作品解説分担任執筆、国立西洋美術館、2012年10月

「松方幸次郎と国立西洋美術館の近代美術コレクション」『国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術』展カタログ、国立西洋美術館、2012年10月、pp.7-15

「全国美術館会議による文化財レスキュー活動」『東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成23年度活動報告書』東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会、2012年10月、pp.151-155

青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから印象派、ロダン、ピカソまで』（朝日おとなの学びなおし）分担任執筆、朝日新聞出版、2013年、pp.147-154, 178-199

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』作品解説分担任執筆、西洋美術振興財団、2013年

[講演・シンポジウム等]

「石巻文化センターの救援」（第61回全国美術館会議総会特別セッション「文化財レスキュー事業の経過とこれから」パネラー報告）大塚国際美術館システィナ・ホール、2012年5月28日

「海外美術品の借用について」（外国法渉外事件研究会）東京地方裁判所債権者集会場、2012年6月13日

「国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術」（ギャラリートーク）井原市立田中美術館、2012年10月5日

「美術館のネットワーク—全国美術館会議の活動」（第60回全国博物館大会シンポジウム「再生を支えるネットワーク」パネラー報告）秋田キャッスルホテル、2012年10月25日

「国立西洋美術館の近代コレクション」（講演会）2013年1月13日 島根県立石見美術館講義室

「美術品レスキューと被災館支援」（ヨコハマフォトフェスティバル特別パネルディスカッション「被災資料への取り組み それぞれの現場から」パネラー報告）横浜赤レンガ倉庫1号館、2013年1月20日

「被災文化財救援活動について考える会 人材（2）マネジメント」（被災文化財等救援委員会公開討論会第2日 討論参加者）東京国立博物館平成館大講堂、2013年2月4日

「歩み続ける美術館—全国美術館会議研究部会の活動」（第27回全国美術館会議学芸員研修会 企画・司会進行）国立西洋美術館講堂、2013年3月25日

[雑誌・新聞記事等]

「文化財レスキュー事業：東北の美術品・文化財を守る」『ゼフュロス』51号、国立西洋美術館、2012年5月

「共に楽しむ展覧会 東京・国立西洋美術館巡回展」『山陰中央新報』2013年1月8日

「事務局から 文化財レスキューの成果と課題を考える」『ZENBI』3号、全国美術館会議、2013年1月

[その他]

東京大学大学院非常勤講師（文化資源学）

全国美術館会議事務局企画担当幹事

文化審議会美術品補償制度部会専門委員

東京都美術館外部評価委員会委員

愛知県美術館美術品収集委員会委員

鹿島美術財団推薦委嘱者

文化関係3法人の学芸・研究系における連携のあり方検討会構成員

横山佐紀 / Saki YOKOYAMA

[展覧会関連教育普及活動]

「ベルリン国立美術館展」

「手の痕跡展」

「ラファエロ展」

[所蔵作品関連教育普及活動]

視覚障害者を対象とするスクール・ギャラリー・トーク

FUN DAY 企画運営

[外部資金・調査研究活動]

科学研究費補助金基盤研究（C）「共和主義におけるピールのミュージアムの教育的役割と視覚による教育の成立」（研究代表者、課題番号24501276）

科学研究費補助金研究成果公開促進費（学術図書）『ナショナル・ポートレート・ギャラリー その思想と歴史』（課題番号245237）

在外研修、ニューヨーク・メトロポリタン美術館教育部、2012年4月1-28日

[口頭発表]

「チャールズ・ウィルソン・ピールのミュージアムとアメリカ」アメリカ学会第46回年次大会、文化・芸術史分科会、名古屋大学、2012年6月3日

「ナショナル・ポートレート・ギャラリーにおける思想・歴史」文化資源学会、第2回博士号取得者研究発表会、東京大学、2012年12月8日

[著作]

『ナショナル・ポートレート・ギャラリー その思想と歴史』三元社、2013年2月28日刊行（単著）

『ラファエロ』展ミニカタログ作品解説執筆（共著）、国立西洋美術館/読売新聞社、2013年3月

[雑誌記事など]

「ニューヨークのさまざまなミュージアムとアクセス・プログラム」『博物館研究』Vol.48、No.1、日本博物館協会、2013年1月25日発行、pp.21-23

「Fun with Collection 2012 彫刻の魅力を探る」「セイビまるごとお楽しみ！ FUN DAY 2012」『ゼフュロス』No.53

[教育活動]

立教大学非常勤講師

[その他]

全国美術館会議事務局企画担当幹事

渡辺晋輔 / Shinsuke WATANABE

[展覧会]

「ピラネージ〈牢獄〉」展企画構成

「ラファエロ」展企画構成

[著作]

青柳正規監修、国立西洋美術館編『西洋美術史：ルネサンスから印象派、ロダン、ピカソまで』（朝日おとなの学びなおし）朝日新聞出版、2013年（共著）

『ラファエロ』展カタログ編集、論文・章解説・作品解説等執筆、国立西洋美術館/読売新聞社、2013年3月

『ラファエロ』展ミニカタログ編集・執筆、国立西洋美術館/読売新聞社、2013年3月

平成22-24年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究報告書『西洋近世版画史の一次史料調査』（課題番号22520117）、2013年3月

国立西洋美術館編『国立西洋美術館名作選』西洋美術振興財団、2013年

「ラファエロ像の変遷と偶像化への過程」『ラファエロ』展カタログ、2013年3月、pp.34-39

[雑誌記事]

「ピラネージ〈牢獄〉展」『うえの』639号、2012年4月

「2011年度収蔵作品について」『ゼフェロス』52号、2012年8月

「ラファエロ」『美術の窓』2月号、2013年1月

「ラファエロ」『文化庁月報』534号、2013年3月

「ラファエロ」『うえの』647号、2013年3月

「画家ラファエロ」『東京・春・音楽祭—東京のオペラの森2013』2013年3月

[講演]

ラファエロ展関連レクチャー (いちご会:3月9日/東京・春・音楽祭:3月19・21日)

[教育]

お茶の水女子大学文教育学部非常勤講師、2012年4-9月

武蔵野美術大学特別講師、2012年4月-2013年3月

[国際会議参加]

International Advisory Committee of Keepers of Public Collections of Graphic Art, XXIIIth Convention、ウィーン、2012年5月28日-6月2日

[外部資金]

平成22-24年度科学研究費補助金基盤研究(C)「西洋近世版画史の一次資料調査」(研究代表者)

平成22-24年度科学研究費補助金基盤研究(B)「19世紀ローマにおける外国人芸術家の活動と交流に関する包括的研究」(研究分担者)

鹿島美術財団より、トム・ヘンリー教授招聘費用助成